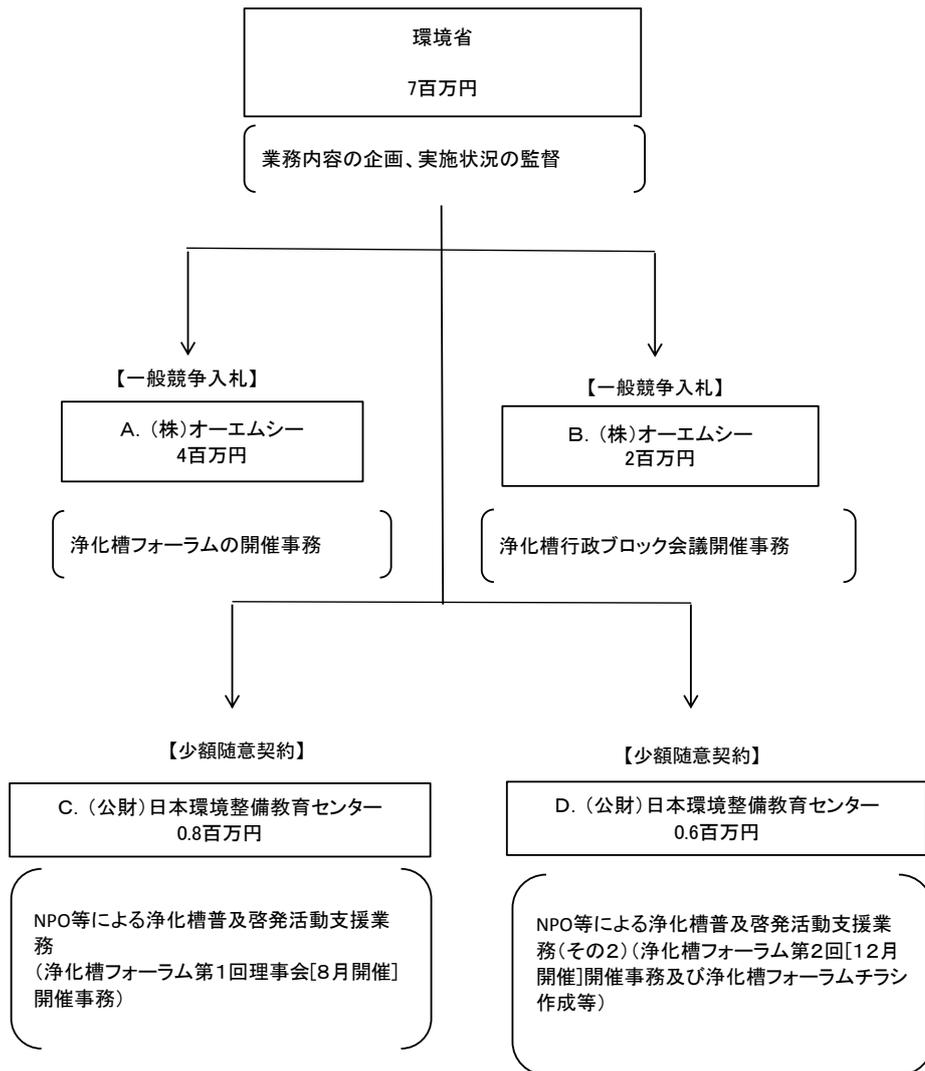


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	浄化槽整備推進費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～		担当課室	廃棄物対策課浄化槽推進室		浄化槽推進室長 高澤 哲也			
会計区分	一般会計		政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-6 浄化槽の整備によるし尿及び雑排水の適正な処理					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	廃棄物処理施設整備計画(平成20年3月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	浄化槽は下水道と同様の処理能力を有するオンサイト型の処理施設であり、地方の人口分散地域では効率的な整備が可能なものである。このような浄化槽の機能や特長について、自治体関係者やNPOなどへの理解を深める事業を行うことにより、自治体での浄化槽の整備推進を図ることとし、健全な水環境を確保する。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県・市町村の浄化槽行政担当者に対し、浄化槽の具体的な整備内容・方法や課題への取り組み等に関して、環境省調査情報の還元や自治体との情報交換等の実施を通じ、国及び自治体間での連携を図り、国及びブロック毎の自治体間のネットワークを構築・情報交換を活発化させる(浄化槽行政ブロック会議)。 ・NPOとの連携により浄化槽に関する情報を提供・共有することによりネットワークの形成を促進する(浄化槽フォーラム)。 								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		当初予算	52	28	13	12	9		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計	52	28	13	12	9			
	執行額	14	6	7					
執行率 (%)	27%	21%	54%						
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (12年度)	
	平成24年度までに、浄化槽処理人口普及率(浄化槽普及人口の総人口に対する割合)を、12%とする		成果実績	%	8.74	8.75	調査中	12	
			達成度	%	73	73	—		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	浄化槽行政ブロック会議、フォーラム開催回数		活動実績 (当初見 込み)	回	10	6 (10)	7 (10)	9 ()	
単位当たり コスト	1,067(千円/回)		算出根拠	浄化槽整備推進費(7,469千円)÷浄化槽行政ブロック会議等開催回数(7回)					
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費		12	9					
	計		12	9					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	自治体での浄化槽の整備推進を図るため、国自らが事業を行う。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札により、競争性を確保している。 また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。 一般競争入札により、応札企業の企業努力により予算を相当程度下回った執行額で推移して来たが、24年度は予算の大幅見直しにより、不用額については改善して来ている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	廃棄物処理施設整備計画に基づき、浄化槽処理人口普及率を12%としている。なお、平成18年度末から平成23年度末までに合併処理浄化槽は48万4千基増加している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>当該事業は、市町村関係者や住民等における浄化槽に対する基礎的理解や意識が十分でないことから、浄化槽の整備推進を行う上で必要な情報の提供等を、行政や住民に対して行ってきたところである。</p> <p>平成16年度から22年度までの7年間に各道府県で浄化槽シンポジウムを実施し、その結果、市町村における浄化槽整備への機運が高まり、汚水処理整備計画の見直し等を行う事例も数多く現れた。また、平成19年度からは、浄化槽フォーラムを実施することで、NPOとの連携や住民間のネットワーク形成が進みつつある。</p> <p>これらの事業により、浄化槽に対する一定の理解や認識は進んだと思われるが、浄化槽整備事業を実施している市町村からは、整備上の課題(合併浄化槽への転換方策等)など浄化槽を巡る諸課題の取り組みに関する情報交換等について強い要望がある。</p> <p>このため、平成23年度からは行政間の連携を図るための浄化槽行政ブロック会議を開催し、浄化槽の整備等に関する情報共有や意見交換により国と自治体相互のネットワークを構築しているところである。一定の役割を終えた浄化槽シンポジウムの終了により事業の集約化、重点化を図り、行政中心の浄化槽行政ブロック会議と民間中心の浄化槽フォーラムの開催を引き続き実施することにより、より実効性のある事業を展開することにより、浄化槽に対する理解を深め、その普及を促進していくこととする。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	執行実績を踏まえて、事業内容の効率化を図り、概算要求額の縮減に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	支出実績を勘案し、事業内容を精査することにより、概算要求額を減額。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	125	平成23年	117	平成24年	118

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)オーエムシー			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料		2			
旅費	旅費	1			
その他	諸謝金、賃金、印刷製本費、消費税	1			
計		4	計		0
B.(株)オーエムシー			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	24人工	0.6			
旅費	旅費	0.3			
その他	印刷製本費、会議費、通信運搬費、消費税	0.9			
一般管理費		0.2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	浄化槽フォーラム開催事務	4	3	67%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	浄化槽行政ブロック会議開催事務	2	6	29%

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(公財)日本環境整備教育センター	NPO等による浄化槽普及啓発活動支援業務(浄化槽フォーラム第1回理事会[8月開催]開催事務)	0.8	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(公財)日本環境整備教育センター	NPO等による浄化槽普及啓発活動支援業務(その2)(浄化槽フォーラム第2回理事会[12月開催]開催事務及び浄化槽フォーラムチラシ作成等)	0.6	随意契約	—